

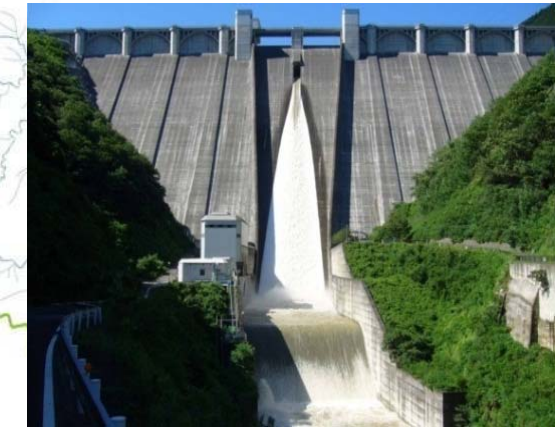
荒川上流ダム群の概要



合角ダム (F,N,W) : 埼玉県
 治水容量 560万m³
 完成年 平成15年



滝沢ダム (F,N,W,P) : 水資源機構
 治水容量 3,300万m³
 完成年 平成23年



浦山ダム (F,N,W,P) : 水資源機構
 治水容量 2,300万m³
 完成年 平成11年



二瀬ダム (F,N,P) : 国
 治水容量 2,180万m³
 完成年 昭和36年

F : 洪水調節
 N : 流水の正常な機能の維持
 P : 発電
 W : 上水道

令和元年台風第19号における荒川上流ダム群の治水効果

■ 荒川の上流域では、台風第19号(令和元年東日本台風)において、荒川上流ダム群が約5,200万m³の洪水を貯留しました。

位置図



ダム名	ダム貯留量
二瀬ダム	約1,100万m ³
浦山ダム	約1,400万m ³
滝沢ダム	約2,100万m ³
合角ダム	約600万m ³

荒川上流ダム群において、約5,200万m³の洪水を貯めたことで、荒川の主要地点である寄居地点(埼玉県寄居町)で約70~80cm水位が低下したものと推定されます。

二瀬ダム貯留状況写真



貯留前



貯留後